

大津信楽線付替工事ニュース



バックナンバーはQRコードを読み込み大戸川ダム工事事務所HPへ

工事名：大津信楽線新3号橋工事(大戸川の上空40mを横断する長さ267mの橋梁上下部工事です。)

平成29年4月12日



上空40mにかかる橋の製作(コンクリート打設編)

本橋は、主に鉄筋とコンクリートにより構成されています。鉄筋等の資材は、大型クレーンにより橋の上に吊上げ、組立てていきますが、フレッシュ(新鮮)なコンクリートはそうはいきません。整備された工場で製造され、現場に配達される液体状のコンクリート。これを(固まり始める前に) **Q: どうやって高い橋の上に打込んでいくのでしょうか???**

コンクリートは、セメントと骨材(砂や砂利)に水を加え、練り合わせて固めたもの。いわば、人の手によってつくられた岩といえます。



全高約20m(5階建ビル相当)

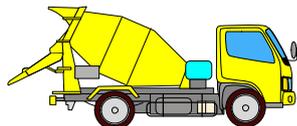
材料が上部に運ばれ、計量・練混ぜトラックアジテータ車に排出されます。



① 整備された工場で練混ぜます。

ミキサーが内蔵されたトラック

練り混ぜたコンクリートを均一に保持し、材料分離を起こさずに、容易に排出できるトラックアジテータ車を使用して運搬します。



② トラックアジテータ車で運搬します。

A1: コンクリートポンプ車

コンクリートポンプ車とは建設現場で、パイプやホースを通じて打設場所へ圧送する装置を持った作業車です。本橋の打設では、油圧ピストンにより押し出す高圧ポンプを使用し、最大約120mの輸送を行います。

③ コンクリートポンプ車にて圧送します。



A2: 特殊な筒(シュート)

特殊な筒とは、一般的に縦シュートと呼ばれる筒です。コンクリートを外部に分散させることなく、材料分離を防止し、品質を保持した状態で打込み筒所に流し込むことができます。

④ 特殊な筒を使って下側に流込みます。

コンクリートポンプ圧送方法の歴史は古く、今から約100年前の1907年にドイツで発明されたといわれています。

日本では、東京オリンピック以降の高度経済成長期に打設・作業性・省力化を大幅に改善できる工法として普及し、今日に至っています。



コンクリートポンプ車



⑤ 振動機を使って均一に締固めます。

完成イメージ図



県道16号線(大津側)より望む

川田建設(株) KAWADA CONSTRUCTION CO., LTD.

大津信楽線新3号橋工事事務所

〒520-2161

滋賀県大津市上田上桐生町地先

TEL : 077-549-0103

FAX : 077-549-0109

携帯からは、こちらのQRコードを読み込んでください。HPにつながります。



大津信楽線付替工事ニュース

平成29年4月12日



バックナンバーはQRコードを読み込み大戸川ダム工事事務所HPへ



工事名:大津信楽線新2号橋下部工工事 (大戸川左岸側の橋梁部分の柱を3基施工します)

現場全体写真および施工箇所別作業状況



P2橋脚が完成しました



高さ15mという 5階建てのビルくらいでしょうか！
最高の出来栄です。

P2橋脚の躯体(最大高さ・15m、幅・7.6m、奥行・2.5m
コンクリート体積・約152m³、鉄筋・約40t)

8月下旬より作業を始め、深礎工に4ヶ月、躯体工に3.5ヶ月・・・ようやく完成しました。本工事の中で一番高さのある橋脚で 機械と材料の運搬には 苦勞しました。



大津信楽線付替工事ニュース

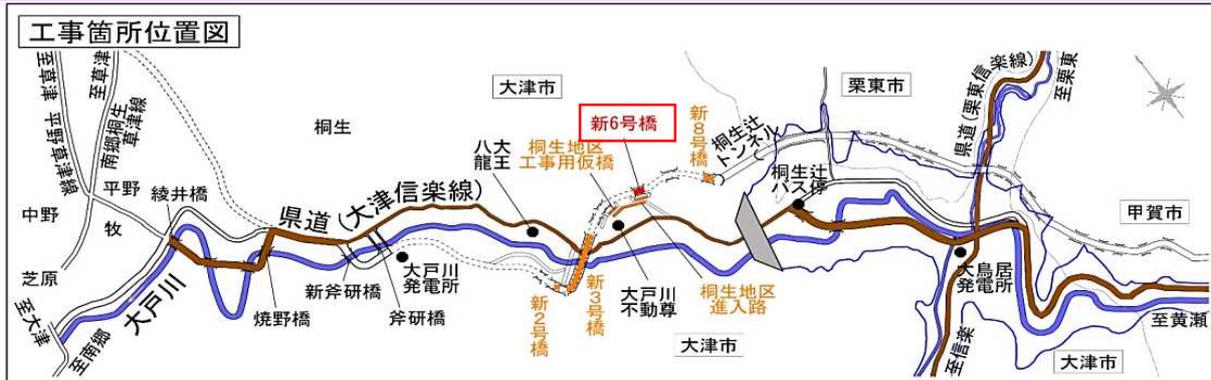
平成29年4月12日



パソコンはQRコードを読み込み大戸川の工事事務所HPへ

工事名：大津信楽線新6号橋下部その他工事

(付替県道新6号橋の橋台を2基施工します。橋台を施工するための工事用仮橋26mを施工します。)



【工事の進捗】

3月下旬に立木の伐採が完了し、使用するクレーンの組み立てを開始しています。

【今後の予定】

4月は引き続きクレーンの組み立て、伐採木の荷下ろし搬出後現況横断測量を実施したのち、転石の破砕処理及び防護処理を行い、仮橋の設置をします。

200tクレーンで120tクレーンを吊り上げています



株式会社 内田組

【現場事務所】 滋賀県大津市上田上桐生町地先

【電話】 077-549-1355

【FAX】 077-549-1355